

2022（令和4）年度の大分県内における温室効果ガス排出量【概要版】

地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年10月9日法律第117号）第21条第15項及び第5期大分県地球温暖化対策実行計画に基づき公表する、2021（令和3）年度の本県における温室効果ガス排出量は以下のとおりである。

1 温室効果ガス排出量

●2022年度県内の温室効果ガス排出量2,808万5千t（二酸化炭素換算・吸収量考慮）

○経済活動はコロナ禍から回復傾向にあったが、物価上昇や海外景気悪化の影響や省エネの取組の進展等もあり、エネルギー消費量は微減した。

しかしながら、原子力発電所の定期検査に伴う長期停止等により、電力のCO₂排出係数が大幅に悪化したため、CO₂排出量は増加した。

【参考】CO₂排出量 = エネルギー消費量 × CO₂排出係数

CO₂排出係数とは、エネルギー消費量あたりのCO₂排出量を示す数値。

＜県内の温室効果ガス排出量＞

	排出量 [千t-CO ₂]	排出量 [千t-CO ₂]	排出量 [千t-CO ₂]	2030 削減目標 (対2013) ※3	増減率 [%]		全国（2022年度） 増減率 [%]	
	2013 (H25)	2021 (R3)	2022 (R4)		対2013 年度	対前 年度	対2013 年度	対前 年度
温室効果ガス排出量 ①	37,955	29,533	29,989	▲31%	▲21.0	1.5	▲19.3	▲2.5
産業部門（製造業、鉱業等）	25,938	20,962	20,995	▲26%	▲19.1	0.2	▲24.0	▲5.3
業務部門（事務所・ビル、卸小売、病院等）	2,267	1,427	1,445	▲51%	▲36.3	1.2	▲23.6	▲4.2
家庭部門	2,360	1,115	1,565	▲66%	▲33.7	40.3	▲24.5	▲1.4
運輸部門（自動車、鉄道等）	2,712	2,093	2,176	▲35%	▲19.7	4.0	▲14.5	3.9
その他（工業プロセス、メタン等）	4,678	3,936	3,808	▲26%	▲18.6	▲3.2	—	—
森林吸収量 ②	—	▲3,262	▲1,904	—	—	▲41.6	—	▲4.4
温室効果ガス排出量（吸収量考慮①+②）	37,955	26,271	28,085	▲36%	▲26.0	6.9	▲22.9	▲2.3

※「大分県温室効果ガス排出量算定システム」を用いた推計による。

＜県内の温室効果ガス排出量の推移＞



